

ベビーキュー  
BABYQOO・堂崎家

☎0959-73-0253 / BABYQOOは9:00~17:00、雨天休 / 堂崎家は1室(1組6名まで)、1泊2食7560円~/長崎県五島市奥浦町1997 / 福江空港から車25分

Cafe遊民

☎0959-73-5030 / 9:00~17:00、木曜休 / 長崎県五島市野々切町2567-1 / 福江空港から車5分

堂崎天主堂

☎0959-73-0705 / 9:00~17:00 (11月11日~3月20日は~16:00)、無休 / 300円 / 長崎県五島市奥浦町堂崎2019 / 福江空港から車25分

三井楽ステンドグラス工房

☎0959-72-2963 (五島市観光協会) / 10:00~15:00、不定休(体験は要予約) / 体験500円~/長崎県五島市三井楽町濱ノ畔806-9 / 福江空港から車40分

絶景・絶品に溢れる五島列島最大の島

ふくえじま  
福江島



1 かつて、五島内で常駐の神父がいる初の教会だった堂崎天主堂。潜伏キリシタンの資料を展示。2 自家栽培の無農薬野菜、五島で採れたアオサなど地産食材が並ぶ「Cafe遊民」の本日の旬ランチ800円。3 5 「三井楽ステンドグラス工房」ではフォトフレームなどステンドグラス制作体験が可能。「私たち信徒でステンドグラスを作り、6年かけて三井楽教会に納めたの」とは工房を営む濱崎由美子さん。6 堂崎家隣のカフェ「BABYQOO」は白濱さん親子で切り盛り。7 木工が趣味の白濱実男さんが、自宅を改装した民泊「堂崎家」。廃材などを利用した味わいある空間にセンスが光る

コバルトブルーの水際に建つ  
美しくも個性溢れる教会たち

小型航空機で福岡を飛びたち約40分、窓外に大小無数の島が見えてきた。眼下の五島列島は約140もの島々から成るといふ。円錐の鬼岳を横目に、飛行機は福江島の空港に滑り降りた。

2泊3日で五島列島を南から北へ結ぶ旅、最初の舞台は五島列島最大の島・福江だ。空港にほど近い「Cafe遊民」の昼食でさっそく五島の味を満喫したら、車で北上し鏡のような奥浦湾へ。入り江脇には赤レンガの堂崎天主堂が佇む。「昔はここまでの道もなく、湾の対岸から伝馬船てんませんで信徒が渡ってきたんよ」とは教会隣のカフェ「BABYQOO」の白濱今朝代けさよさん。後に知ったが、五島の教会は辺鄙な場所にあることも多い。18世紀末、長崎の外海地方から弾圧が比較的緩い(と思われていた)五島へ移り住んだ潜伏キリシタンたちの多くは、すでに平地には先住者がいたため、急峻な海っぺりなどを開墾し住処とした。もちろんお上の目を避ける意味合いもあっただろう。

車窓に魚見槽などを眺めつつ辿り着いた淵ノ元カトリック墓碑群も、海際にあった。普段、見慣れた仏教徒のそれに似た墓石の上に、十字架が付いている。十字架のない墓石にも洗礼名が